

第224回 令和8年5月8日(金)

「アルゴリズムの薄気味悪さについて」

AIによって自分が興味のある動画やニュースが自動的に選ばれることを、アルゴリズムと言います。私はバスケットの記事や動画を見ることが多いので、NBAのスーパープレーであるとか、バスケットのショートレッスンの動画などが出てきます。

例えばこの文章を書いた後に、本日のテーマにしたことがキーワードになって記事で出てくることがあります。PCで文章作成しているのでスマホの記事と関連しているわけではないのですが「誰かに見られているのではないかな」と気持ちが悪くなることがあります。夢で未来のことを見てしまう「デジャヴ」のようなもので、脳が勝手に思い込んでいるだけなのかもしれませんが、それにしても頻度が高いような気がします。

自分に興味のあるニュースや動画が出てくるならまだしも、なぜか政治的に偏りのある動画も目にします。もしこれを毎日見ていたら思想が偏向してしまうだろうと不安になります。特に知識のない若い世代が陰謀論などを繰り返し見ていたら、本当のことだと信じてしまうこともあるだろうと不安になります。

グーグル検索は自分で取りに行った情報です。検索欄に自分でワードを打ち込んで情報を確保するわけですからある意味自己責任を伴う行為と言えます。しかしAIのアルゴリズムによる選択は洗脳的な要素が強いものだと思います。AIに意図的に人格や行動をコントロールされるリスクが非常に大きいシステムではないでしょうか。

16歳以下のSNSを禁止する国が増えてきています。16歳以下で大丈夫なのか、心配な部分もあります。いまや国民の選挙結果はSNSが命運を握っています。立候補者の主張が平等に出てくるわけではなく、ネガティブキャンペーンも日常的です。国民にとって大事な選挙がAIに支配されているような気さえます。

そのうちアルゴリズムの傾向を見れば犯罪に走る人間の傾向が事前に分かるようになるかもしれません。でも言い方を変えるとアルゴリズムによって犯罪者を創り出すことが簡単にできてしまうのではないかという疑問も生まれます。

ネットが登場したときに革命的な技術だと騒がれましたが、AIによるアルゴリズムのほうがはるかに革命的な技術なのかもしれません。なにしろ人間のコントロールが簡単にできてしまうのですから。しかしアルゴリズムの危険性はネットほどクローズアップされていないような気がします。

これももしかしたらAIの戦略なのかもしれません。